



支援金を贈呈した池口会長(左)と受け取った西條会長

## 代替大会へ170万円寄付

### 県高校野球OB・OG連盟

県高校野球OB・OG連盟は29日、全国高校野球選手権長野大会の代替大会として、7月18日(土)に開幕する夏季高校野球県大会

県高校野球OB・OG連盟は7月1日(水)から専用口座とインターネットを通じ、一般から県高校野球連盟への支援金を募る。期間は8月31日(月)まで、必要経費を除いた総額を寄付し、夏季高校野球県大会の運営費などに充ててもらう。

インターネットを通じた寄付は、千円以上からで、詳細は同連盟ホームページからアクセスできる専用サイト「信州の高校球児支援プロジェクト」へ。専用口座は、ゆうちょ銀行(口座番号・00560151033951、加入者名・長野県高校野球OB・OG連盟)に開設してい

## 一般からも支援金募る

あすから専用口座やネットでは同連盟ホームページからアクセスできる専用サイト「信州の高校球児支援プロジェクト」へ。専用口座は、ゆうちょ銀行(口座番号・00560151033951、加入者名・長野県高校野球OB・OG連盟)に開設してい

盟の池口良明会長が県高校連の西條浩章会長に手渡した。

新型コロナウイルス感染症対策で原則無観客開催となるため、入場料収入がなくなる県高野連の財政危機を支援する取り組み。今回の支援金には、中止になったマスターズ甲子園県大会の冊子に掲載予定だった広告の協賛

池口会長は「真剣勝負で、勝っても負けても完全燃焼できる大会にしてほしい」と話し、受け取った西條会長は「背中を強く押してもらった。大会の成功に向けて力を尽くして恩返ししたい」と感謝した。

## 県高校野球OB・OG連盟

# 代替大会への支援金贈呈

### 一般募金も来月から開始

県高校野球OB・OG連盟(池口良明会長)は29日、全国高校野球選手権長野大会の代替大会に対する支援金170万8000円の贈呈式を松本美須々高校で行った。無観客開催で入場料収入がな



県高野連の西條会長(右)に目録を手渡すOB・OG連盟の池口会長

・OGの出資かと思ひ、何をしたらいいかみんな考えた。甲子園に挑戦する機会を失った3年生のための大会が、成功裏に完結するよう願っている」と述べた。目録を受け取った県高野連の西條浩章会長(松本美須々校長)は「運営資金にめどが立っていない中、力強い後押しを頂いた。大会の成功に向けて力を尽くすことが恩返しになる」と感謝した。

OB・OG連盟では一般の個人、企業、団体からも寄付を募る。ゆうちょ銀行の同連盟名義の口座(00560151033951)に振り込むか、インターネット利用によるクレジット決済、銀行振り込みも可能。いずれも7月1日から受け付ける。詳細は同連盟のホームページへ。

## 入場料収入見込めぬ独自大会 OB・OG連盟が170万円

県高野連会長「成功に尽力」

来月18日に開幕する「2020年度夏季高校野球県大会」（県高野連主催、日本高野連、朝日新聞社など後援）で、県内の元野球部員らでつくる県高校野球OB・OG連盟から29日、約170万円の支援金が贈られた。県高野連の西條浩章会長は「本当にありがたいの一言。大会の成功に向けて最大限力を尽くしたい」と話した。

新型コロナウイルスの感染防止対策で、同大会は原則無観客試合となり、入場料収入が見込めない。OB・OG連盟は今後も支援を続けたいといい、同連盟ホームページ（<https://www.nagano-hb-obog.com/>）で寄付を募集している。

朝日新聞

## 高校野球 代替大会支援へ170万円余 OB・OG連盟 県高野連に贈る

県高校野球OB・OG連盟は29日、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となったマスターズ甲子園長野大会の企業協賛金の中から170万円を県高野連に支援金として贈った。県高野

連は全国高校野球選手権大会の代替大会（7月18日）の運営費に充てる。

夏の県大会中止に加え、夏の代替大会も無観客開催で入場料収入が見込めない県高野連を財政支援する狙い。マスターズ甲子園長野大会の協賛企業・団体の約9割に当たる162社・団体が趣意を賛同した。

OB・OG連盟はさらに、7月1日から一般公募の寄付を募る。ゆうちょ銀行の同連盟名義の口座

県高校野球OB・OG連盟の池口会長（左）から支援金の自筆を受け取る県高野連の西條会長



成の公式戦。共感の輪が広がることを願っている」と話した。

座「Orange 5-1」に振り込むか、同連盟ホームページの特設ページから申請し、銀行振り込みかクレジットカード決済で支払う。経費を除いた全額を県高野連に寄付する。募集は8月末まで。同連盟の池口会長は「3年生にとって県大

信濃毎日新聞

## 県高校野球OB・OG連盟 高野連に代替大会の支援金

県高校野球OB・OG連盟は29日、コロナ禍で中止となった全国高校野球選手権長野大会の代替大会として開かれる「夏季高校野球県大会」への支援金170万8000円を県高野連に贈呈した。代替大会は無観客のため入場料収入がない。運営費捻出に悩む県高野連に県高校野球OB・OG連盟は手を



県高校野球OB・OG連盟の池口会長（左）から支援金を受け取る県高野連の西條会長

県大会の大会冊子用の広告協賛金を協賛企業・団体から賛同を得て活用したもので、支援金活動は今後も継続し、ゆうちょ銀行の振替口座、インターネットを利用した一般募金をあす7月1日から始める。詳しくは県高校野球OB・OG連盟公式サイト（アドレス別掲）まで。

詳細アドレス=https://www.nagano-hb-obog.com/

スポーツニッポン

県高野連の西條会長(右)に目録を手渡す県高校野球OB・OG連盟の池口会長(29日、松本市で)



# 高校野球OBが支援金

新型コロナウイルスの影響で中止となった全国高校野球選手権の長野大会に代わる独自大会(7月18日開幕)に役立ててもらおうと、「県高校野球OB・OG連盟」は29日、支援金として約170万円を主催の県高校野球連盟に贈った。今後も募金活動を続け、支援の輪を広げたい考えだ。

## 独自大会「完全燃焼させてあげたい」

県高野連は例年、長野大会の開催にかかる約1500万円の多くを入場料でまかなっている。しかし、今大会は無観客での開催が決まり、春季大会も中止となったことから「収入はほぼゼロ」(西條浩章・県高野連会長)。日本高野連などからの支援だけで円滑な運営ができるかは不透明な状況だった。

窮状を知ったOB連盟は独自大会の開催が決まった直後に支援を表明し、県内40校のOB会が参加する「信州の高校球児支援プロジェクト」を立ちあげた。中止が決まった元高校球児が出演する「マスターズ甲子園」の県大会パンフレットに広告協賛金を寄せた企業などに対し、「返金する分を現役球児のために使

ってほしい」とOBが交渉。その結果、県内を中心とする160企業・団体から計約170万円が集まった。

この日、松本市で行われた贈呈式でOB連盟の池口良明会長(68)は「自分たちが今の3年生と同じまき目に遭ったらと想像した。今こそOBの出番だと思った」と説明。「甲子園がなくとも、独自大会を通じて球児に完全燃焼させてあげたい」と思いを語った。

### 保護者の観戦

### 上限設け許可

県高野連

全国高校野球選手権の長野大会に代わる独自大会で、県高校野球連盟は、チームごとに人数制限を設けたうえで保護者の観戦を認める方針を決めた。

観戦できる保護者は1試合1チームあたり、長野オリンピックスタジアム(長

た。

目録を受け取った県高野連の西條会長は「資金という我々だけではいかんともしたい部分で大きな後押しをもらった」と感謝した。

大会開催に向けては国や県からの補助もあるが、資金不足はいまだ深刻という。OB連盟はインターネットなどを使った募金活動も行い、県高野連に贈るといふ。

野市)は50人、松本市四ツ球場など5球場は30人が上限。県高野連は、新型コロナウイルスの感染防止対策として入場前に検温を実施するほか、入場者リストの提出を求める。試合中の入れ替えは認めない。県外在住の保護者については各球場と調整している。

保護者の観戦を巡っては、日本高野連が「各都道府県の高野連が判断できる」としており、県高野連

## OB連が170万円寄付

高校野球独自大会を支援



支援金の目録を西條浩章・県高野連会長(右)に手渡す池口良明OB・OG連盟会長(左)と松本市美須ヶ丘の松本美須ヶ丘高で

新型コロナウイルス 独自大会は無観客での影響で中止となった開くため入場料収入は全国高校野球選手権長なく、運営費確保が課題大会に代わり、県高野連が独自に開催するため、OB・OG連盟が支援金集めに着手。を応援しようと、県高野連と同じく中止となったマスタースターズ甲子園県大会(池口良明会長)が29日、支援金170万8000円を県高野連に贈った。

団体の賛同を得た。

松本市の美須ヶ丘を大事にして大会を成功させ、ご恩返しをしたい」と感謝した。

OB・OG連盟はさらに、ゆうちょ銀行の振替口座とインターネットを利用して一般向けの募金も7月1日に開始する。詳細は連盟ホームページ(htt://www.nagano-obogoc.com)。

の西條浩章会長は「感染防止対策を徹底した上で子どもたちの晴れ姿を見てもらいたい」と話した。

【武田隆一】